

バイオ・ラッド テクニカルセミナーのご案内 -ウェスタンブロッティング-

BIO-RAD

ウェスタンブロッティングは、ライフサイエンス研究において汎用的に用いられておりますが、昨今ではデータの信頼性を担保するために抗体の特異性や、感度、そして定量性が求められるようになってきました。

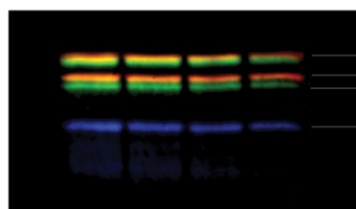
一方、検出では検出感度の高さから化学発光法を用いた方法が一般的ですが、定量直線性やダイナミックレンジ、複数ターゲットの検出が難しいなどの、正確なデータを得るための課題が残されています。

本セミナーでは、化学発光法での定量性向上のご紹介と蛍光ウェスタンブロッティングについてバイオ・ラッドの新製品情報を交えてご紹介させていただきます。

日頃、ウェスタンブロッティングを用いた実験を行っている研究者の皆様は是非ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。実験のご質問も承ります。

セミナー概要

- ウェスタンブロッティングの原理基礎
- サンプル調製等、各実験ステップにおけるコツ
ウェスタンブロッティングの定量性をよりきれいに上げるためのポイント
- 総タンパク質補正（V3ワークフロー）のご紹介
- 蛍光ウェスタンブロッティングのメリット
蛍光ウェスタンブロッティングに最適化されたバイオラッド社
ChemiDoc Touch MPシステムによる実験提案



Merged target proteins
#1 and #2
Target protein #1: Phospho-ERK1/2
Target protein #2: ERK1/2
Anti-GAPDH hFAB
Rhodamine Antibody

蛍光検出法を用いたリン酸化タンパク質同時検出例



日時：2020年2月14日（金） 14:30～16:00

場所：研究支援センター 遺伝子実験施設